

高圧差動プローブ
ADP300/ADP305 簡易取扱説明書



2007年2月発行
レクロイ・ジャパン株式会社

【目次】

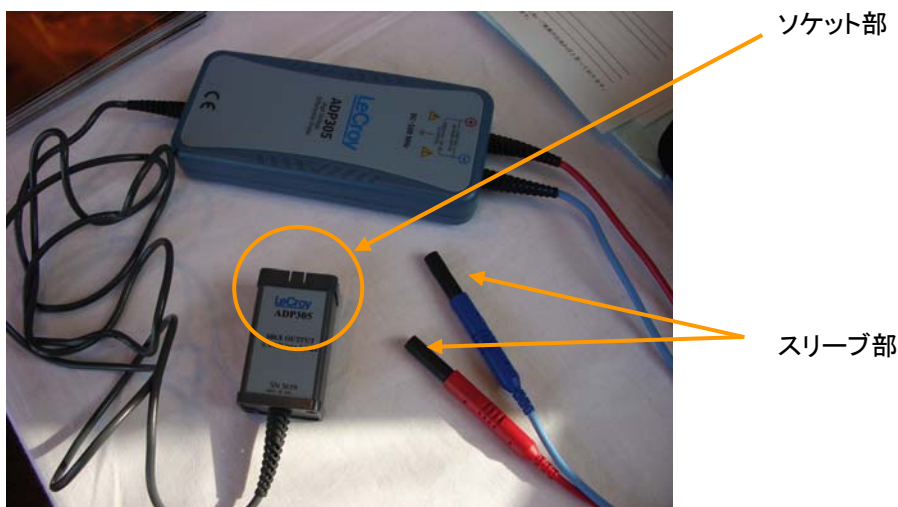
1.	差動プローブのオシロスコープへの接続	2
2.	オシロスコープ 画面表示～(差動プローブ)認識確認	3
3.	差動プローブの準備(AutoZero)	3
4.	アクセサリについて	5
5.	差動プローブ リードの正しい設置	5

1. 差動プローブのオシロスコープへの接続

- (1) オシロスコープを起動します。
- (2) 差動プローブの接続側(ソケット部)をオシロスコープの入力端子に接続します。
カチッと ソケット部のツメがオシロスコープ端子の ProBus 部に噛み込むまで圧着させます。

【注意】

差動プローブソケット部の 6pin 端子とオシロスコープの ProBus 部の 6 穴端子が合う向きで接続ください。



オシロスコープ 入力端子部



差動プローブ ソケット部

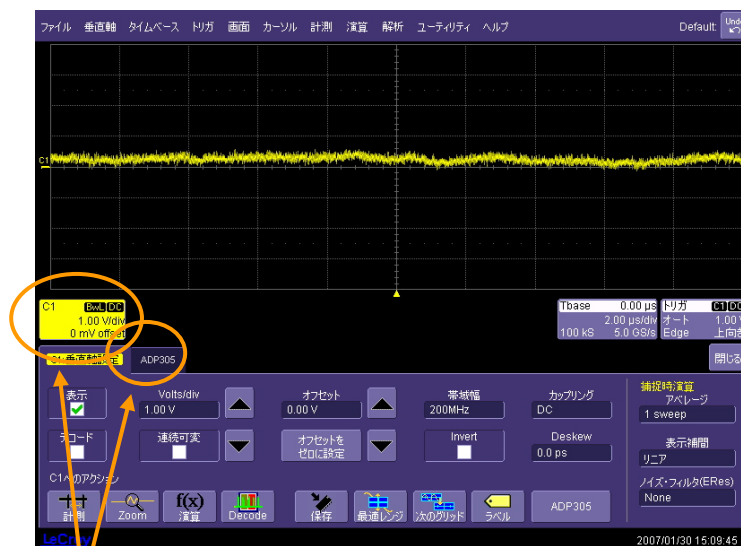


接続した様子



2. オシロスコープ 画面表示～(差動プローブ)認識確認

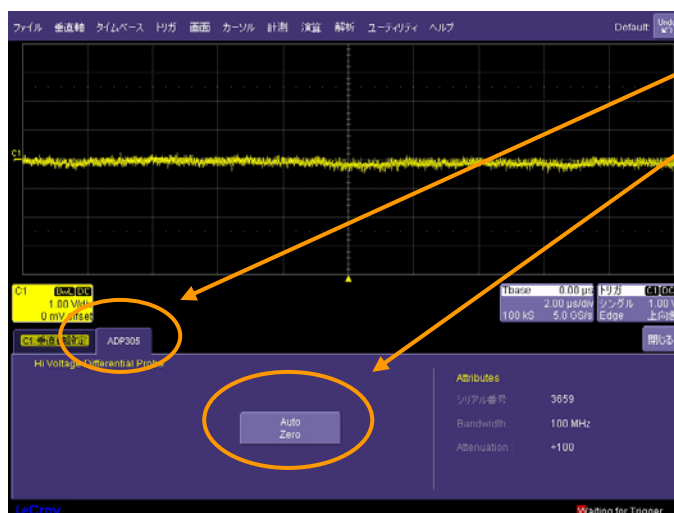
差動プローブが正常に接続されますとオシロスコープが差動プローブを認識しているか確認できます。



オシロスコープの Ch1 の入力端子 に差動プローブ ADP305 を接続した場合は C1(Ch1)のアイコンをクリック → ch1 の設定メニュー上に ADP305 のタグが現れます。

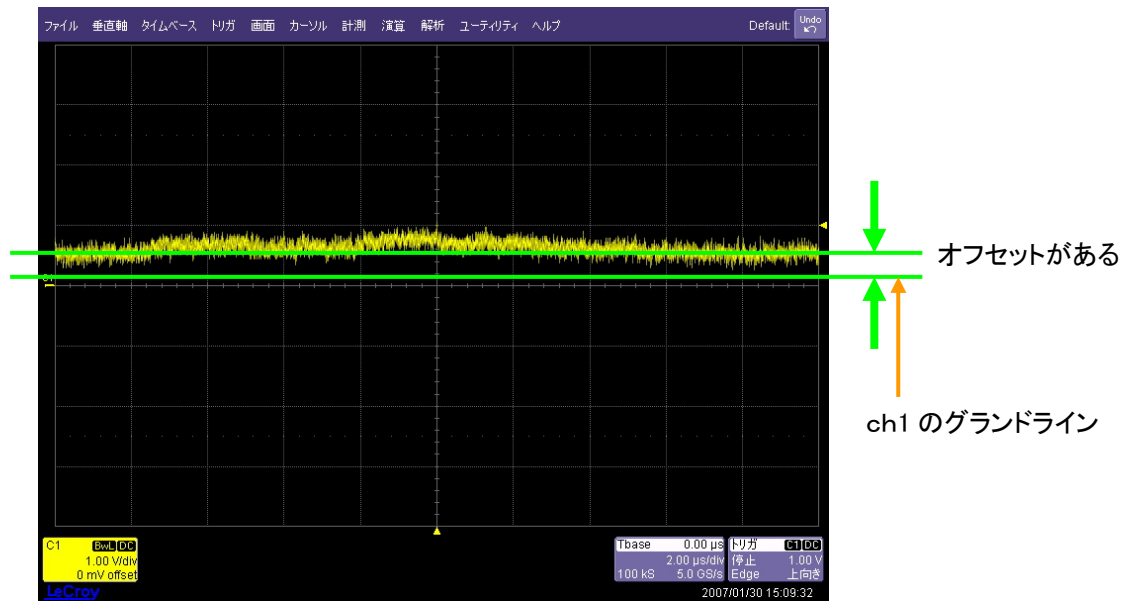
3. 差動プローブの準備(AutoZero)

- (1) 差動プローブは、オシロスコープに接続するとオフセットが乗っている場合がありますので、このオフセットを Auto Zero 機能でキャンセルしてから御使用ください。
- (2) オシロスコープ画面上のメニューより AutoZero ができます。
- (3) 先ほどの ADP305 のタグをクリックしますとそのメニューが現れます。

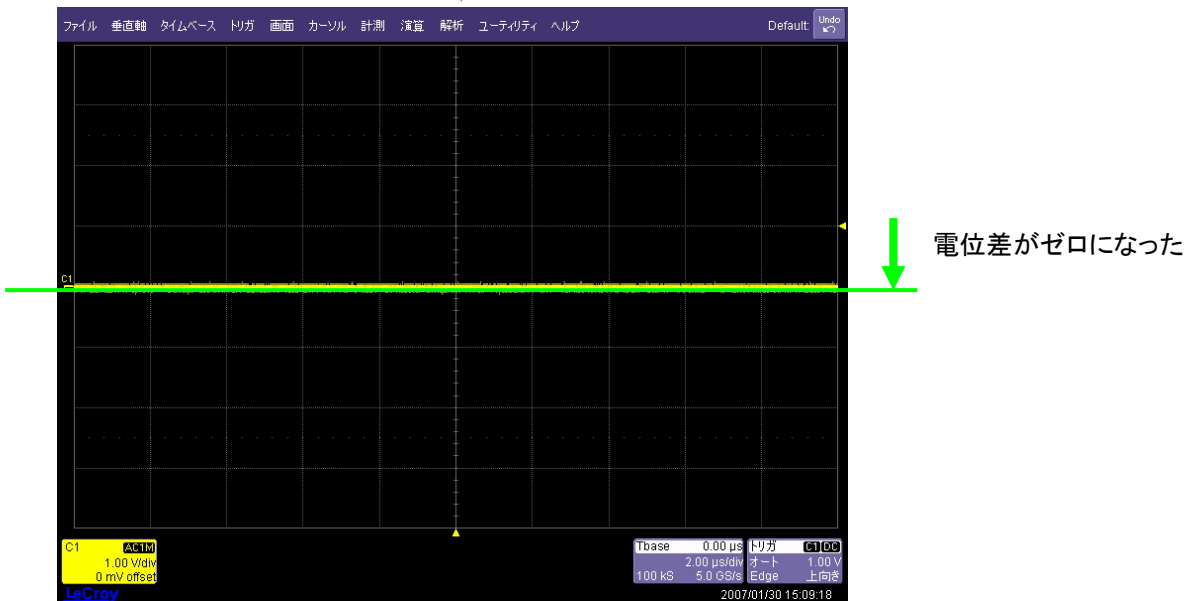


1. AP034 タグをクリック
2. AutoZero をクリック
3. AutoZeroをして良いか確認してくるので OK をクリックするとAutoZeroが始まります。

Auto Zero の様子



AutoZero 後



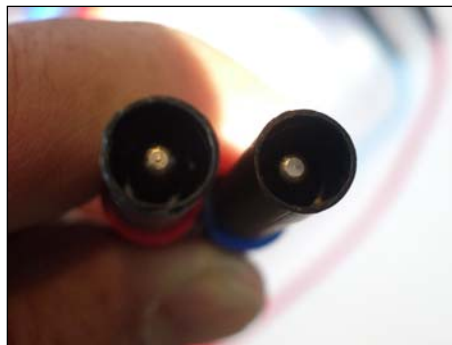
これで使用できる状態になりました。

4. アクセサリーについて

- (1) AP305には 5種のクリップ 類が付属しています。これらのクリップを 差動プローブの 赤・青のリード先端に装着して使用する事により非測定物の信号ピックアップに応じて先端の形状を変えられます。
- (2) 差動プローブへの各クリップの装着は差動プローブの 赤・青のリード先端のスリーブに差し込むだけです。



クリップの先端部



リード先端のスリーブ部



クリップをリード先端に装着したところ

5. 差動プローブ リードの正しい設置

- (1) 差動プローブの設置時は、プローブのリード部についてリングング波形の影響、測定電圧の振れを予防する為に、下記の図の様にリード部をより合わせた形でご使用される事をお勧めします。

